

川柳 二十九年九月 「影」「踏む」

階段を 踏み外して さあ大変 伊藤 直人

脚痛い 足踏みするのも 辛くなり 伊藤 直人

太陽を 背にして自分の 影を踏み 伊藤 直人

影武者が いると噂の 北の人 山本 昭子

近頃は 影がうすいと 安倍総理 山本 昭子

踏みしめて 大地を蹴って 散歩する 山本 昭子

影踏みは 器具も電気も いらないうよ 谷口 明世

孫守りし 「猫踏んじやった」を 弾いてみる 谷口 明世

踏まれても 団太い猫は 動かない 谷口 明世

一人酒 「影を慕いて」 聴きながら 西沢 秀子

妹に 母の面影 垣間見る 西沢 秀子

動かない 足踏みマシン いとおしや 西沢 秀子

靴をぬぎ 土踏んだのは 土踏まず 堀 輝規

おじいさん 影でひそかに ほくそ笑む 堀 輝規

影で見る 自分の姿 気が滅入る 堀 輝規

落選の 影を恐れず バンザイか 藤原 輝治

希望立ち リベラル民の 影薄し 藤原 輝治

踏む足も 軽やか秋の 山歩き 藤原 輝治